

矢作川水系河川改修事業（現）基本計画：昭和49年／建設省

流量カット：740

280

計画高水流量：1,020

国土交通省河川局の基本および計画高水流量の算出数値にどこまで科学性が認められますか。机上の計算で事業化されるこの国の数々の公共事業とは。ダムは道路は箱物は。

昭和49年（1974）に策定された数値が今もそのまま生きている不思議さ。例えば森林の成長や保水力に変化はないのでしょうか。洪水発生確率はどんなもの。

単位：m³/s

計画高水流量
2,300

1,300

カット：1,000

昭和46年完成
（1971）

籠川

5,500

豊田

上村川

上矢作ダム（計画）

1/150確率

大臣管理区間

計画高水流量：不明

根羽川

計画高水流量：不明

名倉川

籠川

集水面積：504平方km

平谷村：77.4

根羽村：89.95

小計 167.35（33.2%）

上矢作町：130.96

稲武町：98.63

串原村・旭町・足助町・設楽町

津具村各一部

小計 107.0

大臣管理区間

矢作ダム

1/80確率

（基本高水流量）

（8,100）

計画高水流量：6,400

水質悪化はダムの宿命
揚水式発電が水質悪化を促進
堆砂が計画の93%深刻な問題
環境放流を考えているか疑問
コンクリートの寿命はいつか
その他複数

2カ所のダムで
カット1,700

7,200

7,000

平成12年9月の恵南（東海）豪雨は500年に一度の規模だったと国土交通省が発表

大臣管理区間

現堤防の整備率：31%

完成堤防も大体は土づくり
豪雨による出水地域規模は
様々、ダムで対処に限界
河川改修はダムより堤防強化が早くて安いかも

2,800（900）

巴川

岩津（基準地点）

1,700

乙川

200

矢作古川

高島

1,500

三河湾

定期読者募集中／気力と体力の続く限り無料郵送いたします／厚かましいお願いですがみなさまから記事（感想）をいただいてもっと内容豊かなものにしたいと考えています

矢作川流域委員会の委員21名に豊田市長・岡崎市長・上矢作町長

大公共事業を縮小し森林整備・河川整備と自然力発電（ダムは除く）を促進する政治に早く転換していただきたい

